

市議会だより

大月市

平成 27 年 11 月 30 日発行 No.140

特集

短大生
×
市議会



CONTENTS

- ・特集
(大月短大生と地域活性化について語る) P. 2~
- ・平成 27 年第 4 回市議会定例会
(主な議案の内容) P. 4~
- ・決算審査特別委員会 P. 6~
- ・代表質問・一般質問 P. 9~
- ・議会日誌 P.18

特集

短大生と地域活性化 について語る

大月短大生 × 大月市議会

大月短大生の感性と若い力をまちづくりにかしたいという趣旨で佐藤ゼミ（2年生14名）を市議会の代表者5名で訪問した。佐藤ゼミは地域活性化の様々な取り組みで注目されている。2年生は卒業論文に取り組んでおり、地域ブランド促進、着地型観光などをテーマにする学生もいて、大月市の底力を感じることができた。



軽トラ市で気付いた商品の価値をみかく

「ストーリー」の魅力

〔短大生〕

×

企画力ほどの仕事でも求められる

自分で起業するつもりでチャレンジを〔市議会〕

ゼミ生全員が県外出身者。懇談は若者・外部の視点から大月市を見る機会となった。佐藤茂幸教授はゼミ生にとっての懇談の目的を3点示した。

- ① 経営学的・経済的な思考をもって、地域活性化の問題意識を深める。
 - ② 専門家、異なる世代との交流によって、対話力・議論力を高める。
 - ③ 「市議会議員と討論した」という実績を作る。
- 双方にメリットを見出す懇談となった。

短大生には大月市はこう見える

- 出身地と比べて田舎ですが、東京に出れば遊べるし、戻れば落ち着いて勉強できるので、ON・OFFが切り替えられる学生にとっては素晴らしいまち。
- 観光の視点で見ると、JRと富士急の乗り継ぎ駅という魅力をもっと生かせるのでは。宿泊ホテルが少ないのが残念。
- 出身地に比べてイベントが多いように感じる。
- 軽トラ市に参加して農家さんに協力して野菜を販売させてもらったが、ただ商品を並べるだけでなく、生産のこだわりや商品になる

までのストーリーを大きく掲示したり、レシピの工夫を紹介することで売れ方が全然違ってくることを知った。

○ 軽トラ市はボランティアスタッフで参加しましたが、コミュニケーションの場としては良いが、市内で完結しているので外部からの集客が課題になるのでは。

大月になれば嬉しい店舗〔短大生〕

- 夜が暗すぎるので、夜9時から10時まで開いているカフェがあるといい。
- 空き店舗の活用策として、シェア店舗はどうか。週替わりでチャ



レンジショップを運営していくことで、負担も減らせるのでは。

○学生食堂がないので、学生向けの飲食店があると助かる。

○格安のお弁当屋さんが、配達までしてくれたらみんな喜ぶ。

○学校以外でゆっくり話せる場所がないので、商店街に学生などが入れる無料の開放スペースがあるといい。

○駐車場のある飲食店がないとよく聞く。

○バイトから深夜に戻ると、大月駅に終電を乗り過ぎた人が何人もいます。宿泊できるところはないかと聞かれることもある。

○富士山が世界遺産登録で外国人観光客が増えているので、富士山グッズを販売すればいい。

○市内に小中高大という学校がそろっているのでは何か交流ができませんか。

市議会議員に質問です (短大生)

問 大月市では地域活性化で何に一番力を入れているか。

答 企業誘致もあるが、市内にある森林資源や農産物を生かした産業振興ができないかと様々なチャレンジをしている。軽トラ市はチャレンジショップ

プの一環で進めている。

問 木造校舎は入学したい判断につながるか。(逆質問)

答 木造でも何でも構わないけど、地元材を使って大学の校舎を作るコンセプトには惹かれるものがある。

問 大月市の着地型観光について教えて。

答 「日本一富士山がきれいに見えるまち」なので登山ガイド。日本三奇橋の名勝猿橋では名物お母さんがゆかりの紙芝居を披露し、農産物直売所などで地元の野菜などを販売している。桂川ではゴムボートの川下りがある。

※ 着地型観光とは
地元の方が地域の魅力を案内する新しい観光

議長からのお礼の言葉

今日は貴重なご意見をありがとうございました。卒業してから再び大月を訪れた時にご意見が何か実現していたら今日の懇談を思い出してください。

また、在学中に生涯のパートナーとめぐり合うこともあると思いますので、ぜひ大月に帰ってきてください。

大月市議会第4回定例会

こんな事が決まりました。

9月2日～9月29日（28日間）

今定例会の議案

市長提出

- ・ 条例案件……………1件
- ・ 補正予算案件……………4件
- ・ その他案件……………1件
- ・ 26年決算認定……………9件
- ・ 人事案件……………1件

議会提出

- ・ 請願……………1件
- ・ 意見書案……………1件



主な議案の内容

条例

◎大月市手数料条例の一部を改正する

個人番号カード（マイナンバーカード）の再発行には手数料がかかりません

住民基本台帳カードの発行が終了し新たに個人番号カード（マイナンバーカード）及び通知カードが発行される事に伴い、個人番号カード（マイナンバーカード）を紛失・焼失・著しく損傷した場合などで再交付を求める際に手数料を徴収

する事となります。（個人番号カードの余白が無くなった時その他再交付がやむを得ないと市長が認めるものを除く）

予算（補正）

◎平成27年度 大月市一般会計補正予算（第3号）

○台風11号により被災した農道大島天神沢線及び葛野水路、林道大入線、市道新深城線外の災害復旧事業を行います。

（6、517万円）

○猿橋中学校のテニスコートの整備を行います。

（2、786万円）

○大月ウエルネスネットワーク事業の追加を行います。

（231万円）

○ふるさと大月応援基金を活用し市役所、市民会館、福祉センターにオムツ交換

台等を設置します。

（74万円）



○国土強靱化地域計画の策定を行います。

（572万円）

○国道139号改良工事により下瀬戸分館移設に伴う設計を行います。

（199万円）

その他

◎訴えの提起の件

市営住宅の家賃を長期にわたり滞納し、市の再三にわたる催告にも納入しない滞納者に対し、代理人（弁護士）により滞納市営住宅明渡及び滞納家賃支払の訴訟提起を行う。

請願

◎30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書
（採択となり、意見書を提出しました。）

委員会審査の様子

◆総務産業常任委員会

災害復旧について

Q 富士山が噴火すると火山灰が降り積り交通網の麻痺が心配される。雪と違い解けないので捨て場に困る事が予測できる。市独自で対応を考えておかなければならないと思うが。

A 火山灰の捨て場について

ては、鹿兒島等の状況を確認しますと一部については建築材料や焼き物等に混ぜ使用しているようですが、殆どの部分は埋め立て処分しているようです。それらを参考に検討して行きます。

大月ウエルネスネットワーク事業について

Q 当初予算で予定していた大月ウエルネスネットワーク事業の補助が取れなかったようだが、来年度は予算を盛り込んで行くのか。

A この事業は、大月の将来にとって有効な事業であると思います。現状では28年度から、本市の単費でやるしかありませんが、今後、様々な補助金を見つきたいと思っております。

大月短期大学建設について

Q 議会の中には木造はどうかという議論もあるが、もし木造で建築する場合には、大月の木材をどの位使う予定か。



◆社会文教常任委員会

マイナンバー制度について

Q 住基カードを持っている人はどうするのか。

A マイナンバーの交付の際、住基カード

と交換して頂きます。

Q 市民、特にお年寄りには不安に思っている。誰もがネットを見るわけではないので、市民への周知を徹底してもらいたい。

A 広報関係は、早急に対処します。

重度心身障害者医療費助成制度の子ども医療費窓口無料化について

Q 上野原市や甲斐市で重度心身障害者医療費助成制度の子ども医療費窓口無料化をはじめていますが、重度心身障害者の子どもの医療費を窓口無料化した場合、ペナルティはどのくらいかかるのか。

A ペナルティは約6万円程度ですが、県からの補助が減るため本市の負担額は約100万円程度増える事になります。

下瀬戸分館の建て替えについて

Q 下瀬戸分館の建て替え

は国道の改良に伴う移転であると思うが、その場合、県や国から補償料の財源あるのか。

A 国道139号道路改良工事のため、下瀬戸分館は建て替えを余儀なくされ、それに対する補償金を財源に建て替えを計画しています。

災害時の対応について

Q 災害時要援護者登録制度があるが現状で何人登録されていますか。また、要援護者の中でどの位の割合の人が登録されていますか。

A 約300人位が登録されていると思います。割合については、要援護者の定義が決まっていないので、要援護者の全体数がかみあいません。

意見 関東東北大水害によって、いろいろな災害が発生しました。要援護者の登録を推進し、現状をしっかりと把握して頂きたい。

平成26年度決算を認定！

- ・決算審査と予算審査との違い【議会の役割】
税金の使い方を決めるのが予算審査、決算審査は使われた結果を検討し、今後の予算編成や行財政運営の改善に役立てる大切な意義があります。
- ・決算審査特別委員会での「病院」「ふるさと納税」「桂川上流域」等についての主な質問・意見と市(当局)の回答を紹介します。



委員長
相馬 保政



副委員長
鈴木 章司

審査の過程で、各委員から多くの意見が出されたが、その内、主なものをあげる。

1点目は、市立中央病院の経営健全化に向けての最重要課題である常勤医師の確保について、市民の生命、健康を守る地域の中核病院として、良質な医療サービスの提供、信頼される病院となるために、医師の確保が重要である。病院改革プランによる平成27年度末の医師数はまだ不足している状況にあるが、新病棟が完成したことにより、常勤医師確保への要件が整ったので、なお一層、関連病院への医師確保に努められたい。

2点目は、ふるさと納税について、「ふるさと納税制度」を周知するとともに大月市が実施する事業や特産品を積極的にPRし、大月市を応援してくださる方(寄附者)や大月市を訪れる人を増やし、更には特産品の活用や新商品の開発等に努められたい。

3点目は、桂川上流域の整備について、上流域は森林と清流の維持による里山づくりや水源としての機能の維持が求められ、なかでも水源としての機能については重要であり、下水道整備計画の推進及び合併浄化槽の設置を計画的に進め、普及率を上げるよう努められたい。

また、厳しい財政運営を余儀なくされている中にあるのは、自主財源の確保は喫緊の課

平成26年度決算審査特別委員会 委員長報告(要旨)

題であり、国・県等への補助金の確保にも努められたい。
これらの意見を今後の行政運営に反映させることを要望するとともに、その処理、対応結果状況の報告書を予算審査前までに提出して頂きたい。



決算審査特別委員会

決算審査特別委員会における主な論点 Q&A

中央病院の常勤医師

Q 医師確保は、施設が新しくなればできるとの認識でいたが、どのような状況か。



A 働く環境が整いつつあるので一步踏み込んで医師派遣をお願いしていきたい。27年度になってからも3回、病院長、内・外科主任教授などへお願いに行っている。

ふるさと納税

Q 今後どう考えているか。



A 返礼品の充実と言うことですが、あまり高価なものを返礼することは考えていない。今後、「おつき一駅逸品」など、商工会にも協力をお願いしながら、低価格のものを作ってもらいたいと考えている。また、産業観光課等と連携をしながら、カタログの様なものができるか検討していきたい。

※平成26年度実績 ¥7,068,000円

上流域の水質保全

Q 水質保全の具体的な考えを伺いたい。



A 市内全域の状況(26年度)は下水道約16%、合併浄化槽約22%、単独浄化槽約57%、汲み取り約5%。浄化槽を設置する際に補助をすることで整備を進めており、それと同時に下水道の接続率を上げていきたい。

農業水産業費

Q 大月市は都留市より多いが、上野原市の半分。農業に力を入れていこうとすれば、どこにどういう形で予算をつけていくのか研究する必要がある。



A 予算要求をし、農業がうまく回るようにしていきたい。

地域循環型経済の育成

Q 入札について、市内の事業者が落札できる環境が地域循環から必要と考える。



A 市内業者が対応できる工事等については、指名競争入札等により、市内業者を優先している。大規模事業の県外や市外の大手業者に対して、下請けには市内業者を使ってほしいとお願いした経緯もある。

公共施設の使用料見直し

Q 市民活動を活性化するという視点から、使用料金の問題をもう一度検討することはできないか。



A 冷暖房費を別途いただくことなどは、市民にとって負担が大きいだらうと思う。料金については他の施設と比較する中で適正料金、効率的な料金を考えていきたい。



市政を問う

9月定例会

代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

今定例会では、7名の議員が質問を行いました。

● 代表質問

(1) 古見金弥議員 (清風会 & 公明) 10 ページ

- ①石井市政、3期目のスタートにあたっての抱負は
- ②市民総参加の大月創生・自給自足条例(仮称)制定を

(2) 小原丈司議員 (山と川の街大月) 11 ページ

- ①猿橋の学童保育施設の建て替えを
- ②大月駅北側の整備計画は

(3) 山田善一議員 (NEW・OTSUKI) 12 ページ

- ①大月市創生総合戦略の取り組みは
- ②教育支援室を設置した理由とその活動内容は

(4) 藤本 実議員 (日本共産党) 13 ページ

- ①太陽光発電設備設置への早急な対応を
- ②国保税を速やかに引き下げるべきだ

● 一般質問

(5) 鈴木基方議員 14 ページ

- ①小規模農業のための生産者コミュニティの整備を
- ②再生エネルギー先進地域としての発信を

(6) 相馬 力議員 15 ページ

- ①大月短期大学校舎建設への取り組み状況は
- ②大手ゼネコンに今回もまた発注するのか

(7) 小林信保議員 16 ページ

- ①エネルギーのふるさと構想とはどのようなものか
- ②健康科学大学専門学校の誘致の見込みは

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。詳しい内容については、会議録(11月下旬発行予定)を図書館及び市のホームページ(<http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/>)で閲覧することができます。